

2022年6月1日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ 歴史の検証』
——指導者である父と挑んだ五輪5大会連続出場——

第110回 三宅 宏実 氏

(2020年東京オリンピック競技大会女子重量挙げ48kg級日本代表)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利)では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のインタビューをもとに、スポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト『スポーツ 歴史の検証』に掲載しています。

現在のテーマは「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」。昨夏に行われた2020年東京大会に尽力された方々が、それぞれの立場・視点で大会を振り返ります。

今回登場するのは、東京大会出場をもって現役を引退し、先日、国際ウエイトリフティング連盟(IWF)アスリート委員会副委員長及び理事に選出された三宅宏実氏。指導者・父である義行氏とともに日本初の女子重量挙げメダル獲得、2大会連続メダル獲得など、日本女子重量挙げ選手の先駆者として活躍した競技生活を振り返ります。現役時代から見据えていたアスリートのセカンドキャリアについても紹介。ぜひご一読ください。

「五輪5大会連続出場に不可欠だった指導者・父の存在」 三宅 宏実 氏

【公開日】2022年6月1日(水)

【URL】https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/history/interview/110.html

スポーツ歴史の検証 インタビュー で検索ください!

【主な内容】ウエイトリフティングで初めて持てた夢/数字で成長がわかる部分に感じた競技の魅力/未熟さを突き付けられたアテネと北京/12年越しの夢が叶ったロンドンオリンピック/連覇の難しさを体感したリオデジャネイロまでの4年間/限界を超えていたことを知った東京大会/アスリートに不可欠な指導者との出会い/現役時代から重要な“将来への準備”



《プロフィール》

■三宅 宏実 (みやけ ひろみ) 氏

1985年生まれ。2004年アテネ大会で五輪初出場。2020年東京大会まで5大会連続出場し2021年に現役引退。2012年ロンドン大会で48kg級銀メダル、2016年リオデジャネイロ大会で同級銅メダルを獲得。2015年より、いちご株式会社ウエイトリフティング部選手兼コーチ。2022年、国際重量挙げ連盟アスリート委員会副委員長及び理事に選出される。父は1968年メキシコシティ大会銅メダリストの義行氏。

■佐野 慎輔 (さの しんすけ) 氏 /インタビューアー

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、笹川スポーツ財団理事/特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会

【特別協力】株式会社アシックス